ビジネス行動規範および倫理規程

はじめに

この文書は、会社の「ビジネス行動規範および倫理規程」について説明するものです。すべての取締役、役員、社員は、個人として、また全体として、会社の事業活動を本規程および適用される法律を完全に遵守して管理する責任を負っています。 本規程の内容をしっかりと確認してください。入社すること、取締役または役員に就任する、あるいは引き続き勤務することにより、あなたは本規程を遵守することに同意したものとみなされます。本規程を読まなかったこと、確認しなかったことにより、社員が本規程、適用される法律、その他雇用に関連するすべての方針を遵守する責任から免除されるものではありません

誰が遵守しなければならないか

QVC Group（「QVC」）および、QVC が直接または間接的に株式その他の持分の 50%を超える議決権を有し、取締役またはこれに準ずる役員の選任に関して議決権を行使できるすべての企業（「支配会社」）と、そのすべての取締役、役員、社員に本規程（コード）が適用されます。
「会社」とは、別途定めがない限り、QVC およびその支配会社を含みます。
「社員」とは、QVC およびその支配会社の取締役、役員、社員を含みます。

ただし、上記にかかわらず、QVC 取締役会が別途定めない限り、以下の場合には本規程は適用されません。
(i) 支配会社が 2002 年サーベンス・オクスリー法第 2 条(a)(7) に定義される「発行者」（一般的には SEC に開示書類を提出する企業）である場合、その支配会社およびその社員
(ii) QVC 取締役会が本規程の適用除外としたその他の支配会社

質問や懸念がある場合

チームメンバーは、ポリシー、手続き、またはその他のエシックス・コンプライアンスに関する質問や懸念について、QVC Group エシックス・コンプライアンスチームまたは QVC Group コンプライアンスラインに連絡することができます。

QVC Group エシックスチーム：

メール： Ethics-Compliance@QVC.com

QVCG コンプライアンスライン			
オンライン報告 **ウェブサイト：**qvcgroup.ethicspoint.com **モバイルサイト：**qvcgroupmobile.ethicspoint.com		**電話による報告** 所在地に応じた番号をご利用ください。	
米国 833-740-5235	**英国** 0800 031 8126	**ドイツ** 0800 181 1024	**イタリア** 800 140 869
日本 0800 300 0406	**ポーランド** 800 005 805	**中国** 400 820 3890	**利用可能時間** 24 時間年中無休で利用できます。

QVCG コンプライアンスラインは独立した第三者によって運営されており、24 時間年中無休で利用できます。QVCG コンプライアンスラインへの通報は匿名で行うことができ、懸念事項は適切な対応のため会社の適切な担当者に報告されます。

また、QVC Group, Inc. の EVP ジェネラルカウンセル宛に、以下の住所へ書簡またはファックスを送ることもできます。
1200 Wilson Drive, West Chester, PA 19380
ファックス番号：484-701-1021

会計または監査に関する懸念があり、それを匿名で提出したい場合は、上記のウェブ上の報告システムを利用するか、QVC Group コンプライアンスラインに電話するか、または前述のとおり QVC Group EVP ジェネラルカウンセル宛に書簡またはファックスを送ることで行うことができます。
報告の内容は、QVC Group の社外取締役の 1 名以上（取締役会の構成組織のひとつである監査委員会の委員長を含む）に報告される場合があります。
また、あなたの報告によって提起された懸念事項は、1 名以上の経営陣によって検討されます。

法的に可能な限り、会社は助言を求める人、または違反や疑わしい行為を報告する人の秘密を厳守します。本規程は、違反を報告したり、法的または倫理的な懸念を提起したりした社員に対する報復やその他の不利益な扱いを禁止しています。

ビジネス行動規範および倫理規範

誠実かつ倫理的な行動

私たちは、会社の事業に関わるすべての取引において、最高水準の誠実かつ倫理的な行動をとり、それを推奨します。それは、とりわけ、私たちがオープンで誠実なコミュニケーションを通じてビジネス上の信頼関係を築くよう努めることを意味します。いかなる者も、悪意ある操作、隠蔽、秘

密情報の悪用、重要事項の虚偽表示、その他の不公正な行為によって、不正な優位性を追求することをしてはなりません。

利益相反

私たちは常に会社の最善の利益のために行動し、実際の利益相反だけでなく、利益相反の外観を避けるためにも最善を尽くします。

「利益相反」は、従業員の私的な利益が、会社全体の利益と何らかの形で干渉または対立する場合に存在することがあります。従業員が客観的かつ効果的に職務を遂行することを困難にする行動を取る場合、またはそのような利益を有する場合にも、利益相反が存在することがあります。また、従業員またはその家族が、会社における従業員の地位の結果として、会社または第三者から不適切な個人的利益を受ける場合にも、利益相反が生じることがあります。

社員またはその親族への貸付またはそれらの者が負担する借入金の保証は、利益相反を引き起こす可能性があり、場合によっては法律で禁止されていることもあります。

実際の利益相反がある場合、またはその可能性がある場合は、社員は、速やかに会社のコンプライアンス担当者、または下記「違法または非倫理的行為の報告」に記載されている宛先に報告してください。社員に関わる取引またはその他の利益相反の状況が、適切な会社の意思決定者に完全に開示され、承認された場合、その状況は本規程の違反とはみなされません。

なお、問題となっている状況が SEC 規則 S-K の項目 404 に基づき開示が必要な取引に該当する場合、その取引は QVC 取締役会の監査委員会、または取締役会の別の独立した機関による承認が必要となります。

贈答品および支払い

私たちは、いかなる人に対しても、またいかなる人からも、賄賂、見返り、違法な謝礼またはキックバックを提案したり、提供したり、求めたり、受け取ったりしません。そのような行為は、本規程に違反するのみでなく、会社および関係者が刑事罰の対象となる可能性があります。社員は、利益相反となる、またはそう見えるような状況における贈答品の授受は避けてください。

社員は、以下の条件を満たす限り、贈答品の授受が認められます。(i) 適用されるすべての法律に従っていること、(ii) 贈与者または受領者に適用される会社の方針に違反しないこと、(iii) ビジネスが行われている地域の慣習を含む、一般的に認められた商慣習に沿っていること。

会社は、贈答品や接待を提供または受ける際には、良識をもって控えめにすることを推奨します。

政府関係者への不正な支払いは厳しく禁止されています。海外での活動に関しては、米国海外腐敗行為防止法（FCPA）により、事業を獲得または維持する目的で、外国政府関係者や外国の政治候補者に対して、何らかの価値のあるものを、直接または間接を問わず、提供することを禁止しています。

事業機会

私たちは、会社の正当な事業利益を促進する義務を負っています。したがって、会社資産、情報または会社で の地位を利用して得られた事業機会を個人的に利用したり、第 三者に利用させることは禁止されます。ただし、同じ事業機会が 会社に対して同時に提案され、会社が断った場合は除きます。どの利益が個人的なもので、どの利益が会社に正当に属するのか判断が難しい場合があり、個人と会社の双方に利益がある活動も存在します。会社の利益のみに資するものではない行為を取ることが適切かどうか疑問がある場合には、その行為を行う前に、会社のコンプライアンス担当者に相談してください。

機密情報または専有情報

私たちは、会社に属する機密情報を、開示が許可されている場合または法的に要求される場合を除き、秘密として保持します。機密情報には、たとえば、公開されていない情報で、開示されると会社の競合他社に利用されたり、会社に損害を与えたりする可能性のあるものが含まれます。会社での雇用期間中に得た機密情報は、雇用期間中または終了後であっても、個人的利益のために使用してはなりません。
私たちは、会社および第三者が所有する特許、著作権、商標、営業秘密、その他の知的財産権の保護と権利に関する法律およびその他の法的要件を遵守します。ソフトウェアおよび情報は、適用されるライセンスまたはその他の使用権に従ってのみ使用します。

会社資産の保護および適切な使用

私たちは会社の資産を保護し、その適切かつ効率的な使用を確保するため最善を尽くします。会社の資産は、正当な事業目的のために使用されるべきであり、会社の業務を妨げない範囲で（適切に許可された場合に限り）限定的な個人的使用が認められることがあります。

法令および規制要件の遵守

私たちは、会社が事業を行う、または会社に適用される、米国ならびに各州、郡、市、国およびその他の法域の法律、規則および規制を尊重し、遵守します。

インサイダー取引の禁止

法令を遵守する義務とは、他にもありますが、有価証券の売買に適用される法令を遵守することも含みます。会社を代表して業務を行う過程で、私たちは会社、または会社が取引関係を持つ可能性のあるベンダー、顧客、その他の企業に関する重要な非公開情報を知り得ることがあります。情報が「重要」とは、その情報が、当該企業の有価証券を売買するかどうかを投資家が判断する際に役立つ可能性がある場合を指します。このような情報に接する立場にある人は、「インサイダー」と呼ばれます。私たちは、重要な非公開情報について、他の社員と話す場合でも、必要最小限の「知る必要がある」範囲に限定すべきです。また、このような情報は、会社の外部の者と共有してはなり

ません。ただし、外部弁護士や会社から業務を委託される者など、必要最小限の範囲で知る必要がある者を除きます。
社員は、会社を含むいかなる企業についても、その企業に関する重要な非公開情報を保有している場合には、その企業の有価証券を取引してはならず、またそのような情報を他者と共有（「ティッピング」と呼ばれることがあります）してはなりません。「インサイダー取引」や「ティッピング」は重大な違法行為であり、刑事罰を含む厳しい制裁を受ける可能性があります。したがって、重要な非公開情報の利用が関係する可能性のある状況で有価証券を売買する前には、社員は会社のコンプライアンス担当者に相談し、会社のインサイダー取引ポリシー（要求に応じて入手可能）を参照しなければなりません。

情報開示

私たちは、証券取引委員会（SEC）への提出書類や、会社または会社を代表して行われるその他の公開開示が、適時で理解しやすく、重要な点において公正・正確・完全となるよう最善を尽くします。
会社は広範かつ複雑な会計処理上の義務があります。会社の帳簿、記録、勘定科目および財務諸表は、合理的な詳細で維持され、会社の取引を適切に反映し、適用される法的要件および会社の内部統制システムに適合していなければなりません。
いかなる社員も、会社の監査人に不適切な影響を与えること、または会社の財務諸表の監査の実施に影響を与えることを意図した行為を行ってはなりません。
情報公開手続きに関与する社員は全員、それぞれの役割に必要な範囲において、会計報告に関する内部統制を含む会社の情報公開コントロールおよび手続き規則を理解し遵守しなければなりません。これにより、会社が SEC に提出する報告書およびその他の文書が、重要な点において適用される連邦証券法および SEC 規則に準拠することが確保されます。
会社の事業、業績、財務状況または事業計画に関する SEC 提出書類やその他の対外発表に権限を持つ社員は、他の社員と協議し、適切な措置を講じ、可能な限り、これらの開示が適時に行われ、かつ行われた際には重要な点において正確かつ完全であることを確保しなければなりません。

違法または倫理に反する行為の報告

社員は、コンプライアンス上の問題やビジネス慣行について助言を求め、必要な指示を受ける権利と義務があります。社員は、違法と思われる、または倫理に反すると見える行為を目撃した場合、会社のコンプライアンス担当者に連絡してください。また、直属の上司や他の管理職、人事担当者、または所属事業部の法務部門に相談することもできます。

報復の禁止

会社は、本規程またはその他の違法または倫理に反する行為について、善意で助言を求めたり、報告または苦情を申し立てたりした社員に対する報復措置を一切許容しません。ただし、他者に害を

与える目的で、違反や疑わしい行為について虚偽の報告を行った場合、その社員は懲戒処分の対象となります。

改訂、修正および免除

本規程は、QVCG の取締役会によって改訂、修正、または免除される場合があります。免除は、取締役会によってその権限を与えられた独立委員会によって付与されることもあります。QVCG の取締役または執行役員に対する本規程の免除については、適用される SEC または証券取引所の規則に従い、速やかに開示されます。

Commented [MN1]: To Martina,
Compared with the previous version of the Code of Business Conduct and Ethics(https://www.qvcgrp.com/wp-content/uploads/2025/10/code-of-business-conduct-and-ethics_OCT2025.pdf), the sections highlighted in yellow have been removed from the current version. Just in case, I have also added the Japanese translation for the sections highlighted in yellow. If it is not needed, please feel free to remove it.

Specifically, the following provisions have been deleted:

"If, however, an employee makes a false report of a violation or of questionable behavior for the purpose of harming another person, the reporting employee will be subject to disciplinary action.

Amendment, Modification and Waiver

This Code may be amended, modified, or waived by the Board of Directors of QVCG. Waivers also may be granted by an independent committee of the Board of Directors designated by the Board to grant such waivers. Any waiver of the Code for directors or executive officers of QVCG will be promptly disclosed as required by applicable SEC or stock exchange rules"

Classification: Internal